

# 徒然草

つれ づれ ぐさ

## 雪のおもしろう降りたりし朝

あした

雪のおもしろう降りたりし朝、人のがり言ふべきことありて、文をやるとて、雪のこと何とも言はざりし返事に、「この雪いかが見ると一筆のたまはせぬほどの、ひがひがしからん人の仰せらるること、聞き入るべきかは。返す返す口惜しき御心なり。」と言ひたりしこそ、をかしかりしか。  
今は亡き人なれば、かばかりのことも忘れ難し。

（第三一段）

5

1人のがり（ある）人の所へ。

# 兼好法師

けん かう

